

指定校番号	28091	学級活動	児童会・生徒会活動	学校行事	○	別紙様式
-------	-------	------	-----------	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	福山市立大門中学校	校長	二畑 芳信	生徒指導主事	尾山 健太
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『一年間を通しての縦割りの活動 ～体育祭から～ 』

取組のねらい 『キーワード : よりよい集団にするために 』

- ・一年間を通して縦割り集団による競い合いを仕組み、行事だけでなく日常の生活の中から集団の一員としての意識を高め、協力することの重要性などを理解させる。
- ・縦割り集団による、競争や協働の経験を通して、充実感や達成感のみならず、公正に行動し、進んで規則を守り、互いに協力して責任を果たすなどの社会生活に必要な態度を養う。

取組の具体的内容 『キーワード : リーダー性を養う 』

・3年生の中から各クラス1名ずつの団長を決定し、男女1名ずつの副団長も決め、このリーダーを中心に、クラス・縦割りの集団が活動をしていく。縦割り集団としての練習時間を多く設けて体育祭に臨ませる。このように生徒指導の三機能（自己決定の場を与える・自己存在感を与える・共感的人間関係を育成する）を意識させながら集団としての力の向上につなげている。特に、最上級生である3年生にはリーダーとしての自覚と責任を意識させて行動するように指導を行った。

取組の課題・創意工夫 『キーワード 課題に向き合う 』

・活動する中で、生徒の思いが他の生徒にうまく伝わらない場面も見られる。リーダーとして声かけの仕方やタイミングなどが課題である。その半面、教職員がサポートをしていけばリーダーだけではなく、集団として成長できる部分でもある。担当の教職員と団長を中心とした応援団の生徒で打ち合わせや練習後の反省をすることで失敗をしたときにはどうすればよかったのか、なぜ集団が上手く動くことができたのかなどを考え意見交流させた。その活動を通して、課題の解決に取り組んだ。

取組の成果（効果） 『キーワード : 他者への感謝 』

・多くの生徒が体育祭終了後の感想で充実感にあふれたコメントを記入していた。特に上級生へ指導してくれたこと・見本となり行動してくれたことへの感謝や下級生へ一生懸命にやってくれたこと・練習以上の行動で協力してくれたことへの感謝が多かった。

○黄組団長
優勝できた理由は2つあると思います。1つ目は、3年生が積極的に1, 2年生にダンスや移動の位置を教えてくれたことです。おかげで移動などをスムーズにすることが出来ました。2つ目は、3年生の説明を1, 2年生がよく聞いてくれたことです。ダンスリーダーを中心に、知っている人が知らない人へ教えることで、全員が理解することが出来ました。3年生はこれが最後の体育祭でした。みんなのおかげで優勝出来ました。練習通りの力を出せた人も、出せなかった人もいます。でも、一人ひとり頑張ったことで、全ての学年で学年優勝を取れたと思います。体育祭で見せた団結力をこのまま、文化祭・マラソン大会で出し、年間の色別学年優勝を取りましょう。



○赤組団長
この体育祭は本当に達成感のある体育祭でした。全体練習が始まった時は、あまり話を聞いてくれなかったり、すぐに動いてくれなかったりで、全然やる気のない雰囲気でした。でも、体育祭が近づくにつれやる気も出てきて、よく話を聞いてくれたり、すぐに動いてくれたり、とてもまとまりのある赤組になりました。結果は2位だったけど、行進・応援で1位になれたのは嬉しかったです。これからも3年生が中心となって、1・2年生をまとめ、総合優勝できるように頑張ります。



○白組団長

体育祭を終えて、リーダーが中心となって動けば、1、2年生も頑張ってくれるということが分かった。1年生は初めての体育祭で分からない事もあったと思うけど、3年生リーダーがみんな頑張ってくれたので、ちゃんと動いてくれました。2年生もよく動いてくれました。3年生は最後の体育祭だからみんな本気でやってくれたし、リーダーじゃない人も1、2年生に指導をしてくれたのですごくうれしかったです。みんな一生懸命やってくれて感動しました。優勝できなかったのは悔しかったです。最初団長は大変だったけど、みんなのおかげでやってよかったです。笑顔で終わってよかったです。



○青組団長

体育祭を団長として終えてみて、みんなをまとめる力がつき、みんなの前で恥ずかしがらずに話せるようになったと思います。最初はちゃんとまとめられず、みんなの前で話すことが恥ずかしかったけど、クラスみんなや副団長が支えてくれたおかげでまとめられるようになり、恥ずかしさもなくなりました。短い間だったけど1、2年生もちゃんとついてきてくれて、ダンスもちゃんと出来ました。結果は4位だったけど僕にとって、記憶に残る体育祭になりました。次の色別の大きな取組みは、文化祭なので、文化祭で1位をとって総合優勝できるように頑張ります。



生徒アンケートの「あなたは大門中学校に進学してよかったですか」、「あなたは理由なく学校を休みたいと思うことがありますか」という項目に対する生徒の回答は次のとおりである。どちらも微増であるが変化が見られる。これは、個ではなく集団として活動する中で、仲間意識・所属意識が高まってきており、大門中学校の生徒でよかったですと思えるようになってきたからと考える。



(生徒アンケートより抜粋)

	1学期	2学期
あなたは大門中学校に通学してよかったですか (はいの割合)	93%	95%
あなたは理由なく学校を休みたいと思うことがありますか (いいえの割合)	73%	77%

今後の展開『キーワード：継続する取組』

・体育祭では3年生がリーダーとして先頭に立ち1、2年生を引っ張り体育祭の成功につなげた。3年生としての自覚が芽生え、自信へとつながっている。しかし、縦割り集団での取組は体育祭だけではなく、文化祭やマラソン大会、3年生が卒業するまでの年間通してやっている。そのため、体育祭での姿を継続させていかななくてはならない。また、行事ごとだけで終わらないようにしなくてはならない。普段の生活の中からよりよい集団になっていくために1つの取組が終わった後に評価をして、次へとつなげていく必要がある。生徒の気持ちを切らさないような教職員側の声かけ・働きかけを意識しなくてはならない。

他校へのアドバイス『キーワード：信頼関係の構築』

・生徒自身に考えさせて、行動させることが大切である。しかし、生徒だけの動きにならないように教職員が目指している方向へ生徒を進めていけるように前面に出ないようにしながらサポートを怠らないようにしなければならない。また、生徒の悩みを共に考えることでよりよい信頼関係を構築していかななくてはならない。